

単身高齢者宅防火訪問を実施しました

美幌・津別広域事務組合消防本部

10月15日から6日間、秋の火災予防運動期間中の行事の一環として、美幌町内の単身高齢者宅を対象に防火訪問を実施しました。

消防職員と女性消防団員、美幌町婦人防火クラブ員で訪問し、火気器具の点検や住宅用火災警報器の設置状況、健康状態、緊急時の連絡先などを確認させていただきました。

訪問先の皆さんには、住宅用火災警報器や感震ブレーカーについて記載した防火チラシと婦人防火クラブ員の方々が作成した巾着袋をお渡しし、より一層の火災予防をお願いしてまわりました。



大規模災害を想定した図上訓練（ロールプレイング方式）を実施

三郷市消防団

9月25日、幹部団員（55名）を対象に大規模災害を想定したロールプレイング方式の図上訓練を初めて実施しました。

付与カードの情報を基に活動方針を決定し災害情報を白図などにまとめ、その後まとめた情報を団本部に報告し訓練は終了しました。訓練終了後、各ブースで検証し、発表を行い「いつ地震が来てもいいように初動体制についてもう一度話し合わなければ」、「統一した情報収集用紙が必要ではないか」など多くの意見が飛び交い大変有意義な訓練となりました。



消防通信 望楼 ぼうろう

速野小学校3・4年生&PTA防災教室を開催

湖南広域消防局

10月12日、守山市の速野小学校で、親子で学ぶ防災教室が開催されました。

防災教室では、子どもたちが普段登下校に使っている通学路に潜む危険や防災情報を事前に防災チェックシートとマップを使って調査し、防災教室の当日に防災マップに書いて親子で再確認をしました。

今後も、子どもたちが安全で安心できる地域づくりのため、子どもと親が共に参加し、学び合えるこのような教室を続けていきたいとの声が聞かれました。



緊急消防援助隊兵庫県隊阪神ブロック後方支援部隊集結訓練を実施しました

西宮市消防局

兵庫県阪神地域では、10月6日に「緊急消防援助隊兵庫県隊阪神ブロック後方支援部隊集結訓練」を西宮市の阪神南広域防災拠点で実施しました。

本訓練では、地域で一体となった活動を実施するために策定した、緊急消防援助隊兵庫県隊（阪神ブロック）後方支援計画の実効性向上及び迅速な後方支援体制の確立を図るため、宿営地の設営及び炊き出しなどの後方支援資機材取扱訓練のほか、後方支援体制についての研修を実施しました。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。
ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】